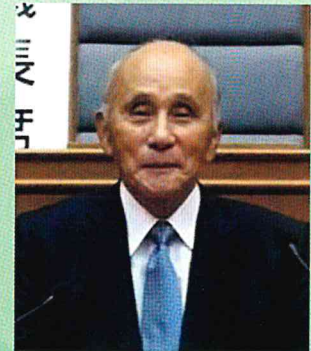


関西石川県人会連合会 県人会だより

2020 年度

- 会長ご挨拶
- 県人会だより
- 関西だより
- 県事務所だより



関西石川県人会連合会
会長 井上 作雄
(平成29年6月就任)



会長ご挨拶

関西石川県人会連合会

会長 井上 作雄

関西石川県人会連合会の皆様方にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から県人会連合会の活動にひとかたならぬご支援、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

今年初め頃、中国武漢で発覚した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に猛威を振るい、我が国においても四月七日政府から緊急事態宣言が出されるまでに至りました。宣言は、関西では五月二十一日、全国で同月二十五日に解除され、ようやく全国で、段階的に社会経済活動が進められているところであります。

その間、「三つの密（密閉・密集・密接）」を避け、「感染しない」「感染させない」ため、「外出の自粛」と「イベント開催の自粛」そして「施設の休業」が要請され、全国各地で開催を予定していた行事がことごとく中止となり、六月二十日に開催を予定していた県人会連合会の第五十九回定期総会を、やむなく中止とする運びとなったことは苦渋の決断でありました。

会員の皆様方に置かれましても、会員各位の事業活動をはじめ、各県人会の活動にも、かつてない程の影響が及

んでいるのではないかとお察ししているところであります。

本年は、ふるさと石川では、これまで観光産業を中心に地元の経済を牽引してきた北陸新幹線が開業五周年を迎え、更なる発展を続けていく節目の時期であり、また関西では、二〇二一年のワールドマスターズゲームズ関西の開業、二〇二三年春の北陸新幹線の敦賀開業、二〇二五年の大阪万博の開業と、大きな追い風が吹いており、悲願である北陸新幹線の早期全線開通の関西での機運を盛り上げていくための大変重要な時期であります。

この難局を乗り越えていくためには、今こそ、会員の皆様の英知を結集していく時ではないでしょうか。思えば、私たちがやその親の世代は、石川から大志を抱き、ここ関西に降り立ち、幾多の苦難を乗り越え、戦後の焼け野原からの復興、日本の高度成長を支えてきたのではないのでしょうか。関西での大きな追い風を再び呼び戻し、ふるさと石川の振興発展に結び付けようではありませんか。

私も、そのために最善を尽くしてまいりたいと考えており、今後とも、ふるさと石川の応援団として頑張っていきたいと存じますので、皆様のご協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

県人会だより

大阪能登互助会が 新年会を開催

一月十日、大阪市中央区のホテル日航大阪において、大阪能登互助会の役員新年会が開催されました。西村正勝会長からは、会員数は減っているものの結束力を強めて取り組んでいるもの、結末力を強めて取り組んでいる旨の挨拶があり、玉屋匡康県大阪事務所長から祝辞がありました。今年度の事業説明があった後、参加者で懇談をしました。

県人会連合会が 新年会を開催

一月十六日、大阪市北区の日本料理「芝苑」にて、連合会の役員新年互礼会を開催しました。（役員三十六人が出席）

開会にあたり、井上作雄会長から石川県の近況や会長就任後の活動報告のほか、今後もふるさとへの応援団として石川県の発展に寄与していく旨の抱負が語られました。細野豊北國銀行大阪支店長、高島誠加能人社長が祝辞を述べ、米田喜憲副会長の発声で乾杯し、懇談しました。

辻口信良副会長の中締め挨拶で閉会しました。



加賀浴友会が 新年会を開催

一月二十四日、大阪市中央区のニューミュンヘン南大使館において、加賀浴友会の新年懇親会が開催されました。中松勝彦会長から皆で結束して頑張っていきたい旨の挨拶があり、井上作雄県人会連合会長、田中宏司大阪信用金庫副理事長、土本昇大阪公衆浴場業生活衛生同業組合副理事長の祝辞のあと、西村正勝大阪能登互助会長の発声で乾杯し、懇談しました。

西野榮二御幸懇親会長の音頭により万歳三唱し、お開きとなりました。



京都県人会が新年会を開催

一月二十五日、京都市内のANAクラウンプラザホテル京都において、京都石川県人会の新年会が開催されました。坂本和一会長から、京都女子駅伝や大相撲での石川県勢の活躍を讃え、我々も頑張っていきたい旨の挨拶があり、玉屋匡康県大阪事務所長、中

野代志男相談役からの祝辞のあと、竹下義樹顧問が国内初の全盲弁護士として活躍する姿を追ったドキュメンタリー映画が上映されました。

続く懇親会は辻口信良県人会連合会副会長の乾杯で始まり、和やかに懇談、カラオケなどで盛り上がり、織部正副会長の中締めで締めくくりました。



能親会が新年会を開催

一月二十七日、大阪能親会の新年会が大阪市北区の日本料理「芝苑」において行われました。西村正勝会長から今年も皆で結束して元氣よく頑張っていきたい旨の挨拶のあと、来賓の奥山恵三ジブラルタ生命なんば第五営業所長、玉屋匡康県大阪事務所長から

祝辞がありました。役員らによる鏡割りが行われた後、池田佳行相談役の発声で乾杯、抽選会で盛り上がり、中村稔副会長が中締めをしました。



友愛会が新年会を開催

一月二十七日、日本料理「芝苑」において、友愛会の新年会が開催されました。

松生義邦会長から、これまで阪神大震災など数々の困難にも皆で支え合ってきた、これからも協力して

いきたい旨の挨拶があり、玉

屋匡康県大阪事務所長、石田雅裕北國新聞大阪支社長の祝辞のあと、来賓の桂坊枝師匠、タレントの高井ギャラ



んが紹介され、田中米吉相談役の発声で乾杯し、懇談しました。

東大阪・八尾県人会が 合同新年会を開催

二月七日、東大阪の石切温泉ホテルセイリユウにおいて、東大阪、八尾県人会の合同新年会が開催されました。木田潔東大阪県人会会長から、兄弟のように支え合ってきた両県人会がこれからも協力して県人の輪を広げていきたい旨の挨拶があり、井上作雄県人会連合会長、玉屋匡康県大阪事務所長の祝辞の後、金沢名吟会の万代呂紫龍さん、万代呂紫鷲さんによる詩吟と舞が披露されました。続く懇親会は浦政男八尾県人会会長の乾杯で幕が開き、多くのカラオケ自慢の歌声に会場は大盛り上がりを見せ、島俊治東大阪県人会副会長の中締め挨拶で閉会となりました。



関西だより

京都女子駅伝で十八年ぶり 県最高記録を更新!

第三十八回全国都道府県対抗女子駅伝は、一月十二日、たけびしスタジアム京都にて号砲が打ち鳴らされ、京都市内を巡るコースで競われました。米田喜憲副会長をはじめとする京都石川県人会の会員や関西石川県人会連合会の辻口信良副会長らが熱い声援を送る中、石川県選手団は、一区で八位の好スタートを切り、その後二区が七位、三区が十一位と好順位をキープしたものの、四区では八つ順位を落とし、その後は二十位前後を維持、アンカーは二十四位でフィニッシュしました。結果、第二十回大会でマークした二時間二十二分六秒の県最高記録を十八年ぶりに更新し、順位も第二十三回大会以来、十五年ぶりの二十位台となり、昨年の三十位から大きく躍進しました。

なお、競技に先立ち、米田喜憲副会長以下京都石川県人会役員、辻口信良県人会連合会副会長、玉屋匡康県大阪事務所長らが石川県選手団の宿舎を訪れ激励しました。



春のセンバツ無念の中止

三月十九日から開催を予定していた第九十二回選抜高等学校野球大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、史上初の中止となりました。石川県からは星稜高校、日本航空石川の二校が出場予定でした。活躍を期待されただけに、残念な決定となりました。



県事務所だより

ほっといしかわなにわ館の 観光展を開催

県事務所恒例となりました、石川県の観光と物産展を二月十五日に開催いたしました。今回は奥能登の酒プロジェクト実行委員会とのコラボ企画で、会場も「ほっと石川なにわ館」を離れ、大阪駅前地下街のディアモール大阪デイズスクエアへ進出、開催日も平日から土曜日に変更するなど、これまでとは志向を変えたイベントとなりました。県産品や県産野菜のPR販売のほか、奥能登の日本酒、ワイン、焼酎、ビールの全十五社から選りすぐりの銘柄を集め、メーカーの担当者が直接カップ販売を行い、お酒の魅力を伝えながら、奥能登への観光を誘客するなど、期待どおり県産品のPRと観光誘客促進の相乗効果が生まれ、参加したスタッフ全員が手ごたえを感じていました。

また、来阪した能登ふるさと博マスコットキャラクター「のとドン」が子どもたちから人気を集め、恒例のガラポン抽選会も用意した先着三五〇名分の商品が開始二時間で品切れになるなど、たくさんのお客様で賑わいました。今回も県人会の皆様にご来場いただき、大いに盛り上げていただきました。

県事務所では、今後ともこのような

取り組みを通じて、県内各地の観光情報や地域の魅力、伝統的工芸品をはじめとした物産の情報発信に努めてまいります。一日も早い新型コロナウイルスの終息を願うばかりです。



ほっと石川なにわ館営業再開

当事務所の1階の石川県の観光・物産展示所であり「ほっと石川なにわ館」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、四月八日から休館しておりましたが、六月一日より営業を再開しました。物産の販売をはじめ観光情報や県関係情報などの発信に今後とも努めてまいります。